



令和5年4月1日

## 令和5年度子ども家庭部運営の基本方針

子ども家庭部長 宮本 学

子ども家庭部としては、今年度より国において、こどもまんなか社会の実現のため「こども家庭庁」が設置され、東京都では「チルドレンファーストの社会」に向けた様々な事業展開が見込まれるため、子ども施策について動向を的確に把握し本市の実情に沿って進めていきます。

家庭や地域において、育つ喜びや子育ての喜びが実感でき、全ての子ども・若者たちが健やかに成長・自立していけるまちとなることを目指して、子育て環境の更なる充実を図るとともに様々な施策を実施していきます。

今後も多様化する保育ニーズへの対応や子育て世帯の不安感や負担感の軽減など、施策の推進が求められています。さらに、ヤングケアラー支援、いじめ虐待防止、ひとり親家庭支援、若者支援など、部内連携に加え、庁内外の関係組織との連携を強化する必要があります。それらを職員一人一人が常に意識して事業に取り組んでいくことが大切になります。

令和5年度のスタートにあたり、市長が示した「令和5年度市政運営の基本方針（令和5年3月31日）」を踏まえ、本年度の部運営の方針を次のとおり設定いたしました。

### I 市長が示した「令和5年度市政運営の基本方針」を踏まえて

#### 1 施政方針を踏まえた対応

- 新型コロナウイルス感染症は、2類相当から5類へと引き下げられることになるが、必要な感染症対策を講じつつ、子どもたちに関する施策やイベント等の事業を全て実施し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、子どもたちが安全で元気に活動できるように進めていくこと。
- 物価高騰が、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしていることから、市内の経済活動等を注視しながら、子ども関連事業についても必要な支援策を適時適切に検討し実行すること。
- 子どもたちに関連する地震対策や環境問題、さらに、デジタル技術を活用した行政改革や、新庁舎への移転を見据えた、新たな行政サービスの創出と新しい働き方の構築について重点的に取り組むこと。

#### 2 『国分寺市総合ビジョン』等を踏まえた方針

- 『国分寺市総合ビジョン』に掲げる「ともに進める」、「ともに高める」、「ともにつなげる」を念頭に置いて、各子ども施策を着実に推進すること。
- 「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念の一つを強く意識し各子ども施策を推進すること。
- 職員一人一人が業務改革の視点を持ち、既成概念にとらわれずに業務効率化を追求すること。
- 充実した行政サービスの提供と堅実な財政運営を同時に実現していくことを、職員全員が十分に認識

し、行財政運営を「自分ごと」として捉え事務事業を執行すること。

### 3 適正な事務執行の確保に向けた方針

- 職員一人一人が改めて仕事の目的とアウトカムを意識し、業務フローに沿って的確に事務事業を執行すること。また、事務を進めるための基本となる財務会計、文書事務等についても確実にマスターし、根拠法令等を確認・理解した上で、重層的なチェック体制のもと、適正な事務執行を行うこと。
- 職員一人一人が常に市民目線に立ち、市民に寄り添う現場主義を徹底し、諸課題を把握し、関係部署と共有を図り、課題解決に向けて機を逸することなくスピード感を持って正確に事務執行するとともに、市民への説明責任を十分に果たしていくこと。
- 超過勤務については、所属長だけではなく、所属部長としても、これまで以上に的確な実態把握を行うようにし、その上で、お互いに協力して生産性を高めるためのマネジメントを実践し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方改革を進めていくこと。
- 新庁舎建設や公共施設マネジメントを考慮して、二重投資にならないよう、計画的・効率的な予算執行をすること。
- 令和5年度当初予算に計上した事業に早期着手し、確実に実行できるよう適時適切に進行管理を行うこと。

### 4 職員の人材育成に向けた方針

- 『国分寺市人材育成基本方針（第3期）』及び『人材育成実施計画』を踏まえ、職員の育成・指導を行うこと。また、『ハラスメントの防止等に関する指針』を周知徹底し、良好な職場環境を維持すること。
- 少子高齢化の進展、市民の価値観の多様化などの社会環境の変化に柔軟に対応し、持続可能な市政運営を行うため、一歩先を見据えて自律的に行動できる職員の育成を行うこと。また、行政のデジタル化の推進に向け、職員一人一人がデジタル技術を駆使することができるよう、知識及び能力の向上に取り組むこと。
- 公務の内外を問わず、常に国分寺市職員としての自覚と責任を持って行動すること。
- 「国分寺市民」の一人として、積極的に地域づくりに関わる場に参加し、市民と共にまちづくりを進めることができる職員の育成を行うこと。

## II 子ども家庭部の重点課題への対応

### 1 国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の推進について

- 令和4年度に中間見直しを行った当計画を着実に進めるとともに、令和6年度の目標の達成を見据えつつ、本年度の事業を展開し、さらに、令和7年度からの新たな計画へつなげていくこと。
- 新たに打ち出される事業なども含めて、子ども・子育て支援に関する国や都・他自治体の情報を収集・整理し、必要性や効果を十分に検証したうえで実施を判断すること。
- 保育・学童施設などについては、常に最新の状況を確認・分析し必要な整備・対策を進めること。

### 2 目標達成に向けて

- 定期的な部内会議・課内会議等による情報共有及び方向性の確認を行うこと。
- 課題が発生した際は、「報告」「連絡」「相談」を徹底し、スピード感を持って対応・解決を図ること。

- スケジュール管理を徹底し、定期的に事業の進行管理を行うこと。

### 3 職員が積極的かつ元気に活躍できる職場づくりに向けて

- 相手の立場に立った発言や行動を常に意識し、チームワーク良く仕事を進めていくこと。
- 職員一人一人が常に公平公正で誠実な対応を意識し行動すること。
- 事務の効率化や推進など、新たな視点での提案が行いやすい雰囲気づくりを行うこと。
- 新たに配属された職員でもスムーズに事務が行えるように、電子も含めてファイルの整理等行うこと。
- 部内での風通しを良くして、課長・係長が連携を中心となり職員への声かけを行いながら、特定の職員に業務が偏ることがないよう業務分担し、業務の効率的執行できるようにしていくこと。また職員の勤務管理をしっかりと行い、休暇取得の推進などワーク・ライフ・バランスに努めること。

### 4 「わかりやすく」、「迅速で」、「思いやりのある」子ども家庭部に向けて

- 子育てに関する情報、子どもの遊びの情報、各種イベントの情報等について、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、最良のタイミングで、わかりやすく発信できるように努めること。
- 窓口の受付、市民への説明、子どもや若者、保護者の相談について、わかりやすく丁寧に対応するとともに、その処理については迅速に行うよう努めること。
- 子どもや若者の普段の生活や保護者の子育てに対する不安や悩みの軽減に向け、様々なサービスの周知に努めるとともに、一人一人の不安や悩みに対して丁寧な対応に努めること。